

パンとられ





はあやばっ
成績また落ちてる

どうしよう
このままじゃ
進学もできないよう
親に何て説明しよう



大丈夫か
春香

大丈夫なわけないでしょ
こんな成績
親に見せられないわよ

はは、最近
休んでたからな
授業ついて
いけなくなるぞ

ねえ私に
勉強教えないよ

人に教える請うする
態度ではないよね



今日あんた家にいくわ！
むしろこんな可愛い
幼馴染と一緒に
勉強できるのだから
ありがたく思いなさい

ええ!! 今日来るのかよ!?

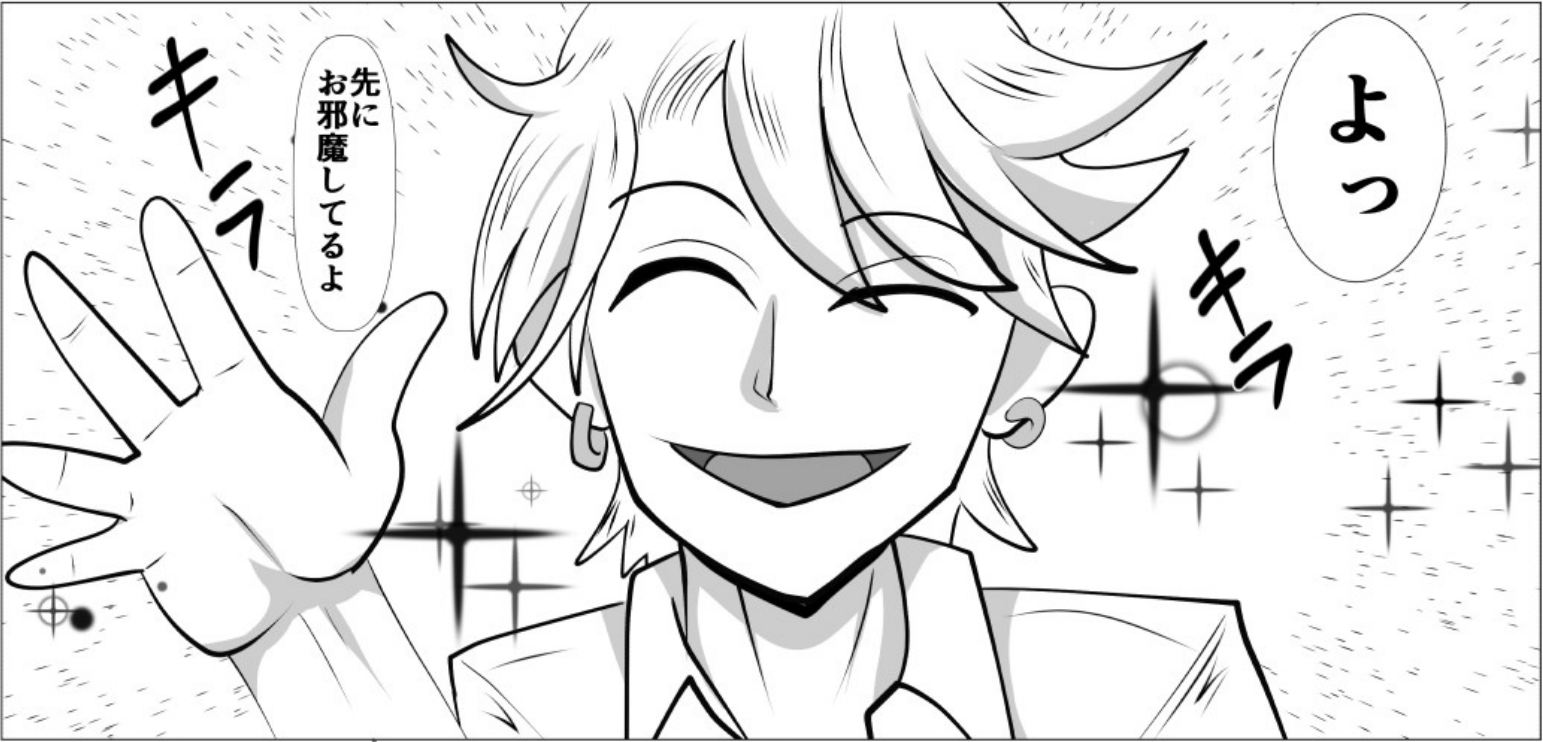


お邪魔しまーす
いいなー…
一人暮らしって

僕は春香が好きだ
何度も告白しようとするも
躊躇してしまい
いまだに
告白できないでいる

私も高校卒業したら
一人暮らしするんだあ

それでも傍に
居てくれるだけで
僕は幸せな
気持ちでいられる



よっ

先に
お邪魔してるよ

キラ

キラ



私帰る

ええっなんで

うるさいバカ



何で翔が
ここに居んのよ

翔もテストの
成績やばくて
勉強しようって

あはは



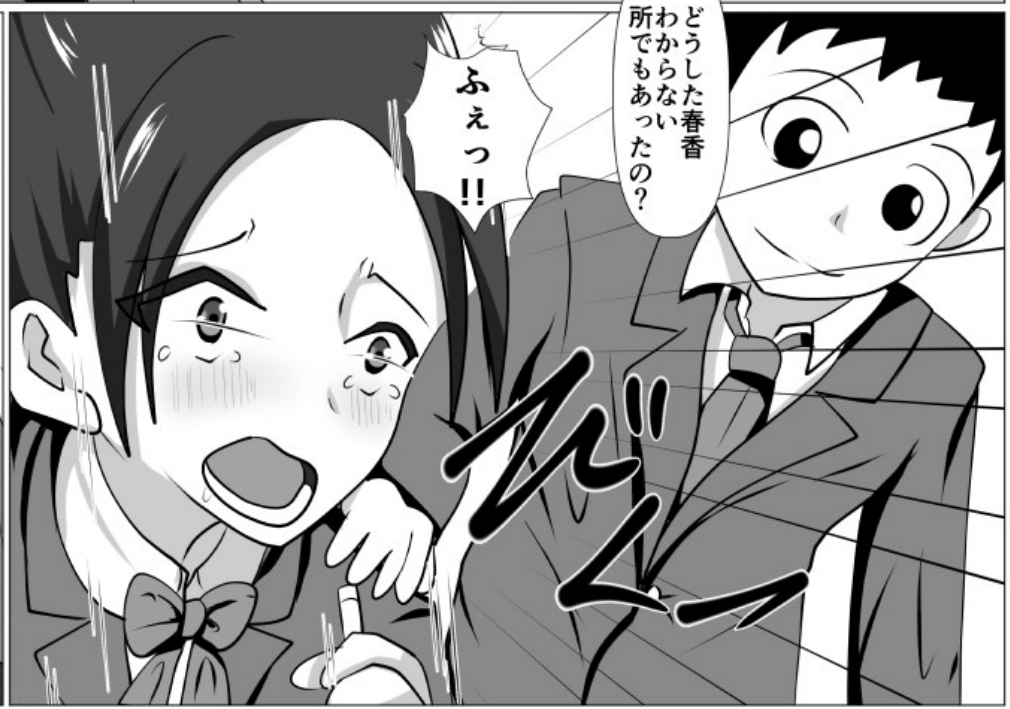
ちよっちよっ
と待ってよ

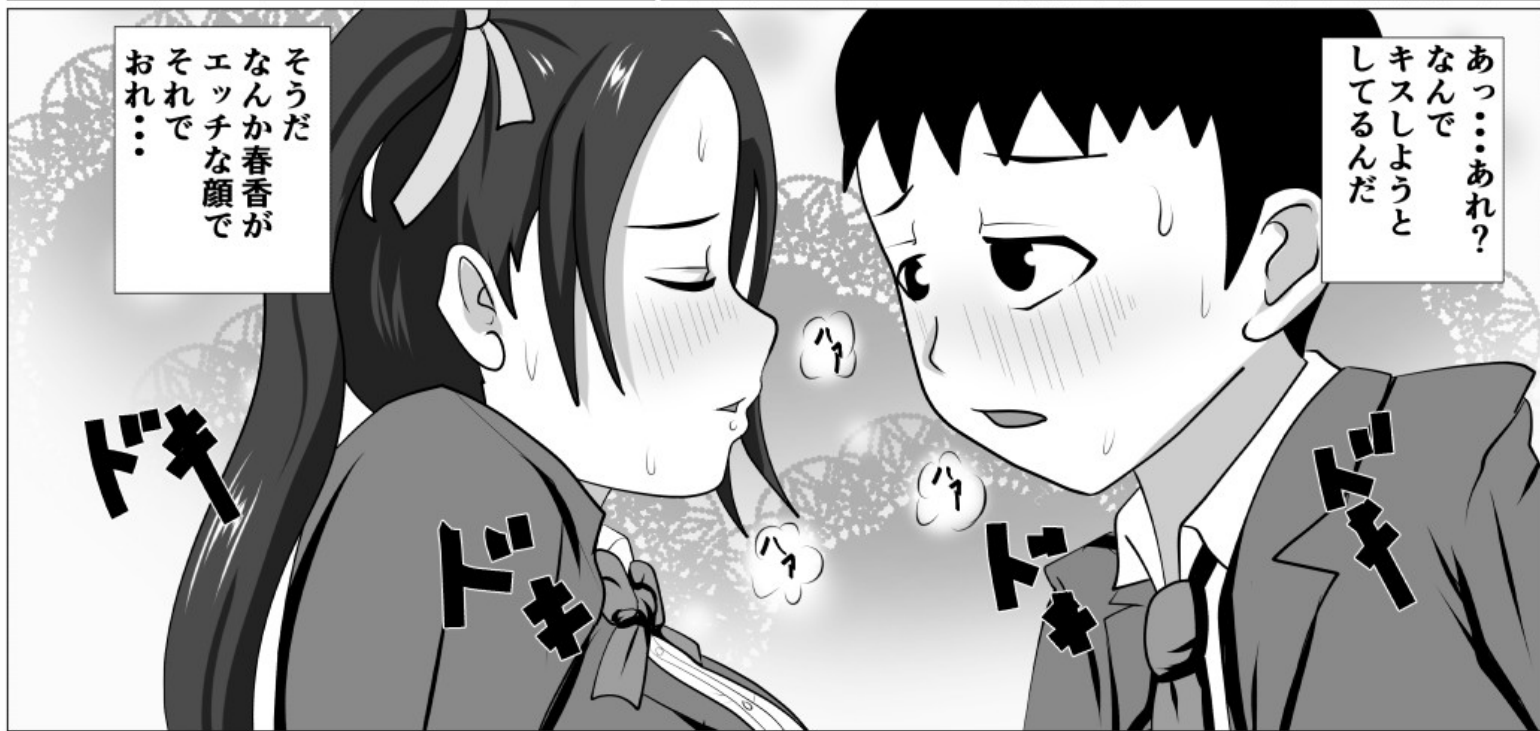
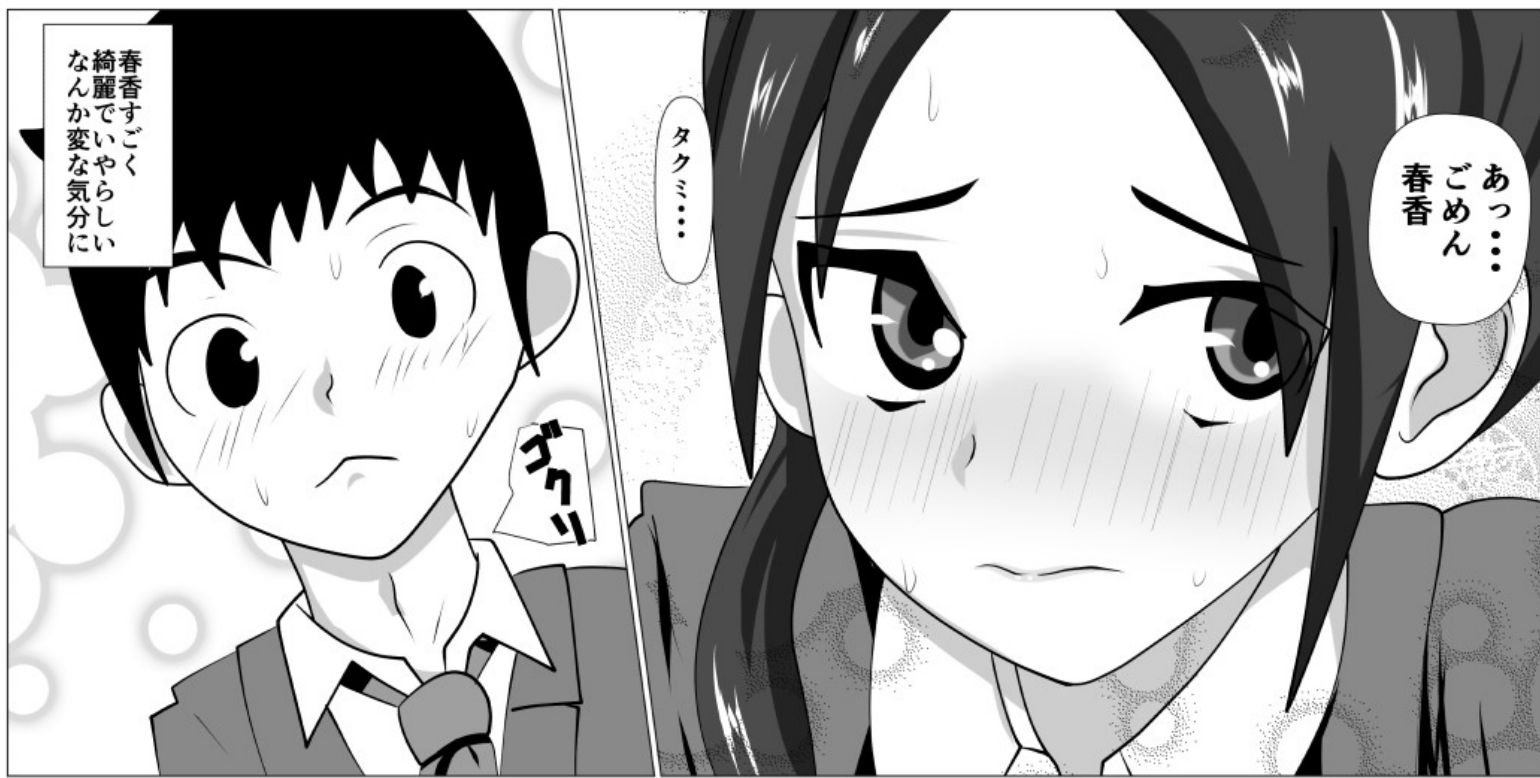
タクミ私前
から言ってる
よねえって
あいっ嫌い
だっ

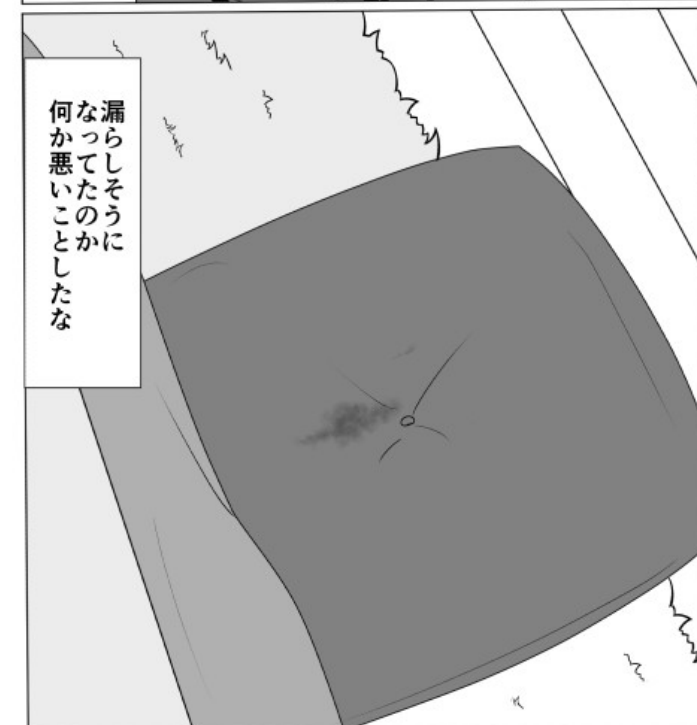
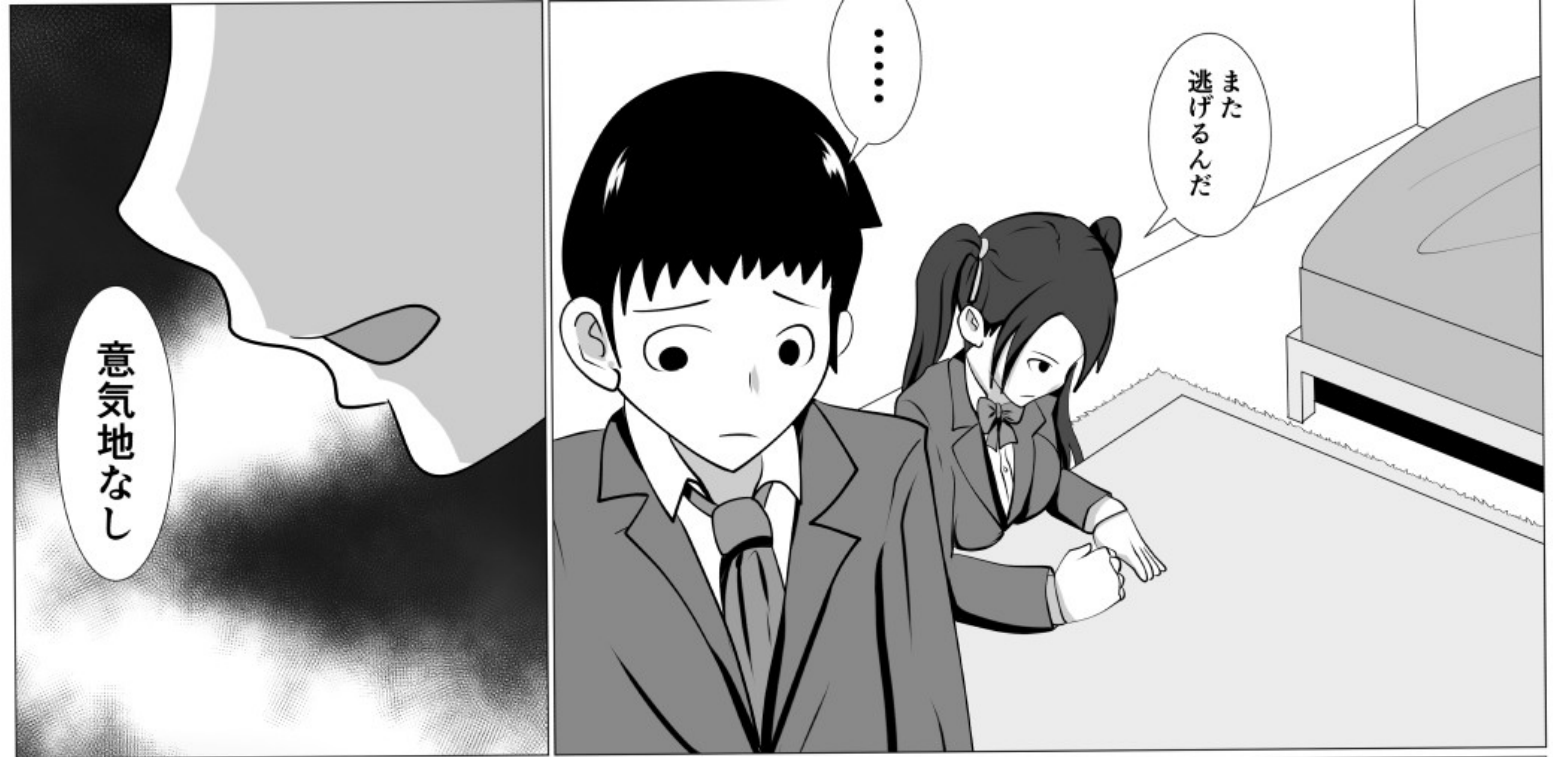
ああ
わかって
るけどさ...

なら何で
引き留めんの











みっ見てたのかよ



タクミなんで
さっきキス
しなかったんだよ



春香の事
どう思ってたんの？

いや、前も
言っただけど単なる
幼馴染で
それだけだって

春香を狙っている男
多いの知ってるだろ
お前が知らない間に
セックスしてるかもな



あいつの乳
前より大きくなって
それに大人っぽくな
あれ絶対セックスした
って



なっなにいつてんだよ
春香に限ってそんな

やつ……
やめろよ

春香が
男作ったとしても
僕には
かんけないから

だよな。あはは

なに笑ってんの

あはっ……
聞いてたんだ

あれ？
ショーツ
変えてきたの？

綿パンに
なってるよ

あんたが変な事
したからでしょ！

あいて！
ひでえーな

これじゃ
彼氏できねーわ

何バカ
いってんのよ

あははは

ああ春香ちゃん
可愛いな

あんな可愛い
幼馴染いて
羨ましいぞこの

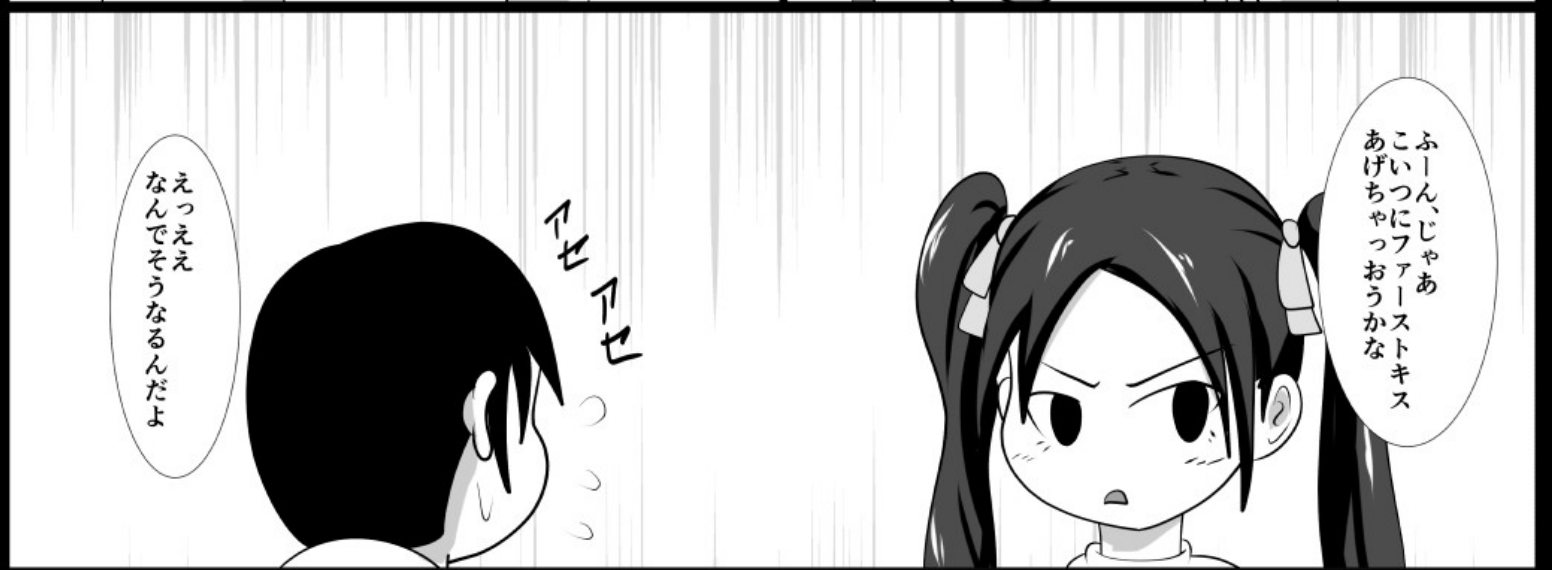
やっやめろて

もう俺
がまんできねー！

はるかちやうあーん
僕もまぜえーて

おいばか！
殴られるぞ！









鏡に写ってるのは
春香…？



ん…夢か
なんだ…？
水と水が
交わってるような音が

ふああ
あんな
ちゅっちゅ

とちゅ

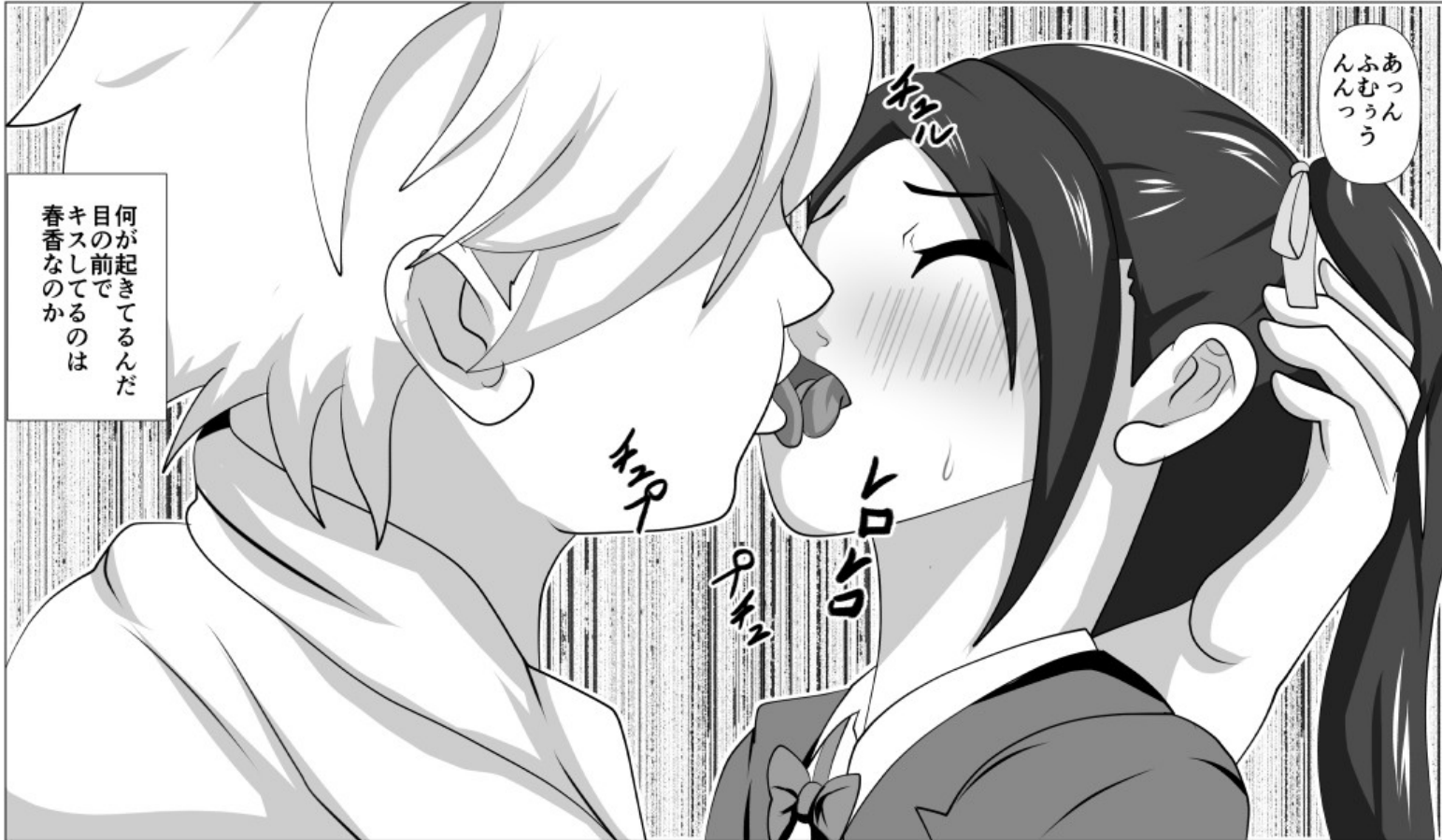


えっ

とっ
とっ
とっ

とっ
とっ
とっ

なんだコレ…



あっ
んふ
んむ
っう
う

何が起きてるんだ
目の前で
キスしてるのは
春香なのか



僕は夢を
見てるのか



無理やり？
違う
あんなに
舌を絡ましてる



もお
ほんとこれ
以上無理
タクミが
起きるっ
てば

おいっ
じゃん
触ら
して
よ

やめ
てっ
てば

あんた
バカじゃないの
タクミがこんなの
見たら嫌われるわよ

直美なんで嫌いな奴に
胸をさらっと
晒してるんだよ

ムン

別にいいよ
俺は春香が
居ればそれでいいし

信じらんない
友人の幼馴染を
レイプするなんて

やめ

レイプだなんて
失礼だな

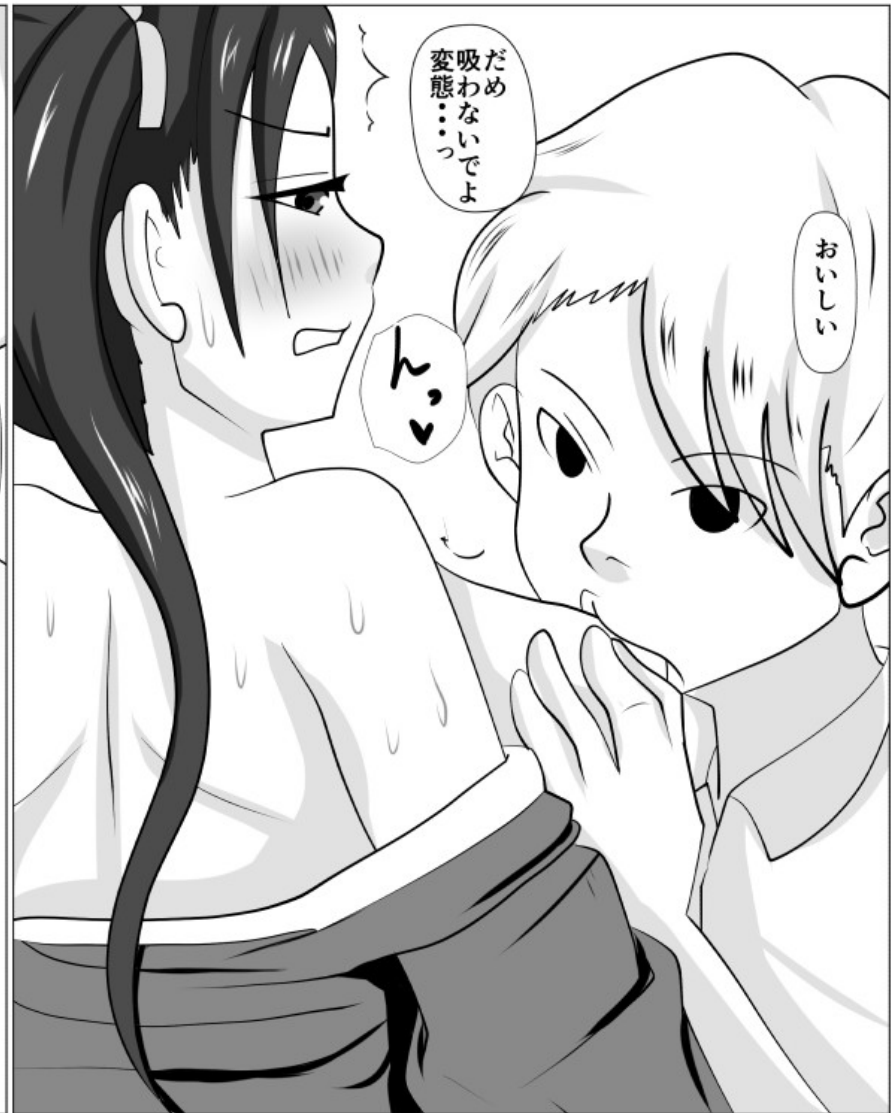
ぐに
びく

俺たち
付き合ってるじゃん

っふっ

ふにゃあ

ぐにゅ
ぐにゅ





あいつ
春香の股間を
春香も気持ちよくて
腰を浮かしている
嫌ならもつと
抵抗しろよ

あん

そこだめ
バレちゃうから
声出ちゃうから

んあ

タクミの奴と
キスしそうになってた時も

こうやってマンコ弄ってたけど
バレなかっただろ
大丈夫だって

びん

あひっ

ん

ぐい

あの時、様子が
変だと思ったけど
俺が居る傍で春香に
そんなことを...

ふにやああ

ここ
大きくなってるね

ん

ん

ん

ん

ん

ん

ん

だめっ
これ以上
本当に
イッちゃう

タクミの
前で
イッちゃうよ

びく
びく

ふざい

びく

びく

ああ見えてる
夢まで見た
春香のマスコ

僕の手じゃなく
あいつの手マンで
あんなに濡れて
くそっ
どうしてこんなことに

だめっ
いっっちゃう
いっっちゃう

イケイケ
思いつき
イッちゃうえ!

ズン

ひん

ズン

ズン

よっしやイッた
すげー締め付け!

ふざい

びく

キーン

キーン

びく

びく

くちゅ

くちゅ

くちゅ



まっまって
イッたばかりで
潮吹いちゃう

これ以上だめっ

タクミの前で
潮吹かしてやるよ
春香は
俺の女になった
マーキング
残してやっからな

ググ

ぐちゅ

ぐちゅ

がく

がく



ちがうう
わたくしはあ
女つじのやつ

ぐちゅん

ふみいいいっ

ブツ

ビュッ

ビュッ

グイェ

グイェ





たくっ
いい加減にしてよね

こんなの所
タクミになんか
見られたく
ないんだからね

やっやっ
やっやっ

春香のケツが
目の前に
まんこも丸見えだ

へへっあの春香が
俺のペニスを
しゃぶってだけで
すぐ射精しそう

なら早くださせてーの

ひく
ひく

春香のマンコの
匂いがして
我慢できない

舌だけじゃなくて
口でやってくれよ
春香の口マンコ
マジ気持ちいいからさ



あんたのチンポ大きくて
顎が痛くなるから無理っ!

頼むよ春香

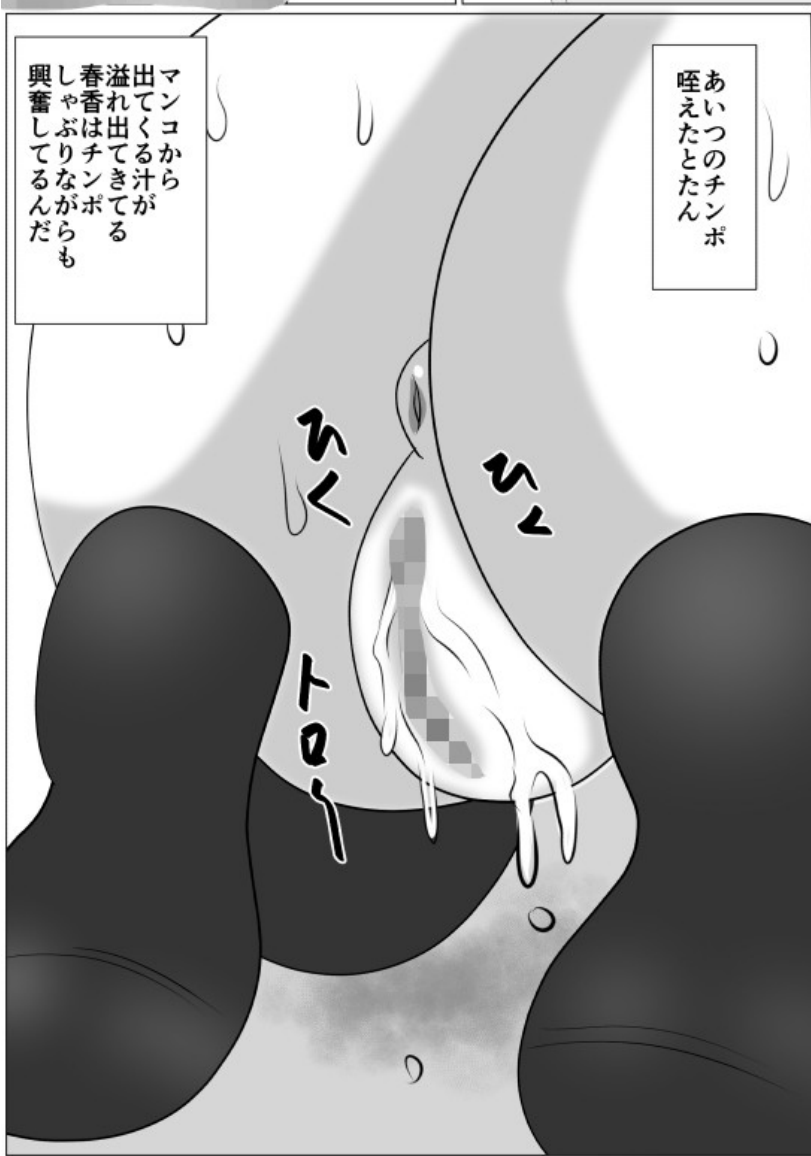


まったく
しょうがないんだから
もう



あいつのチンポ
啜えたたん

マンコから
出てくる汁が
溢れ出てきてる
春香はチンポ
しゃぶりながら
興奮してるんだ



えっ
ちよっと
セックスは
だめだって

良いじゃん
俺マジで
我慢できねーよ

うっ嘘だろ
あいっら
まさか
セックス
する気なのか？

ドクン

ドクン

ムムム

だめっタクミが
居るのに

ツッ

やっやめろ
そんなデカいの
入れたら春香の
処女膜が
破れるじゃないか

あっ入ってきちゃう

ぬるるるる

ふにいい
はにやあい
はああんっあんっ

ひいあ
ひいあ

性格と同じで
何回やっても
春香のマンコは
キツキツで
気持ちいいな

はっ
ひっ
はっ

パチュン
パチュン

パチュン
パチュン

パチュン
パチュン

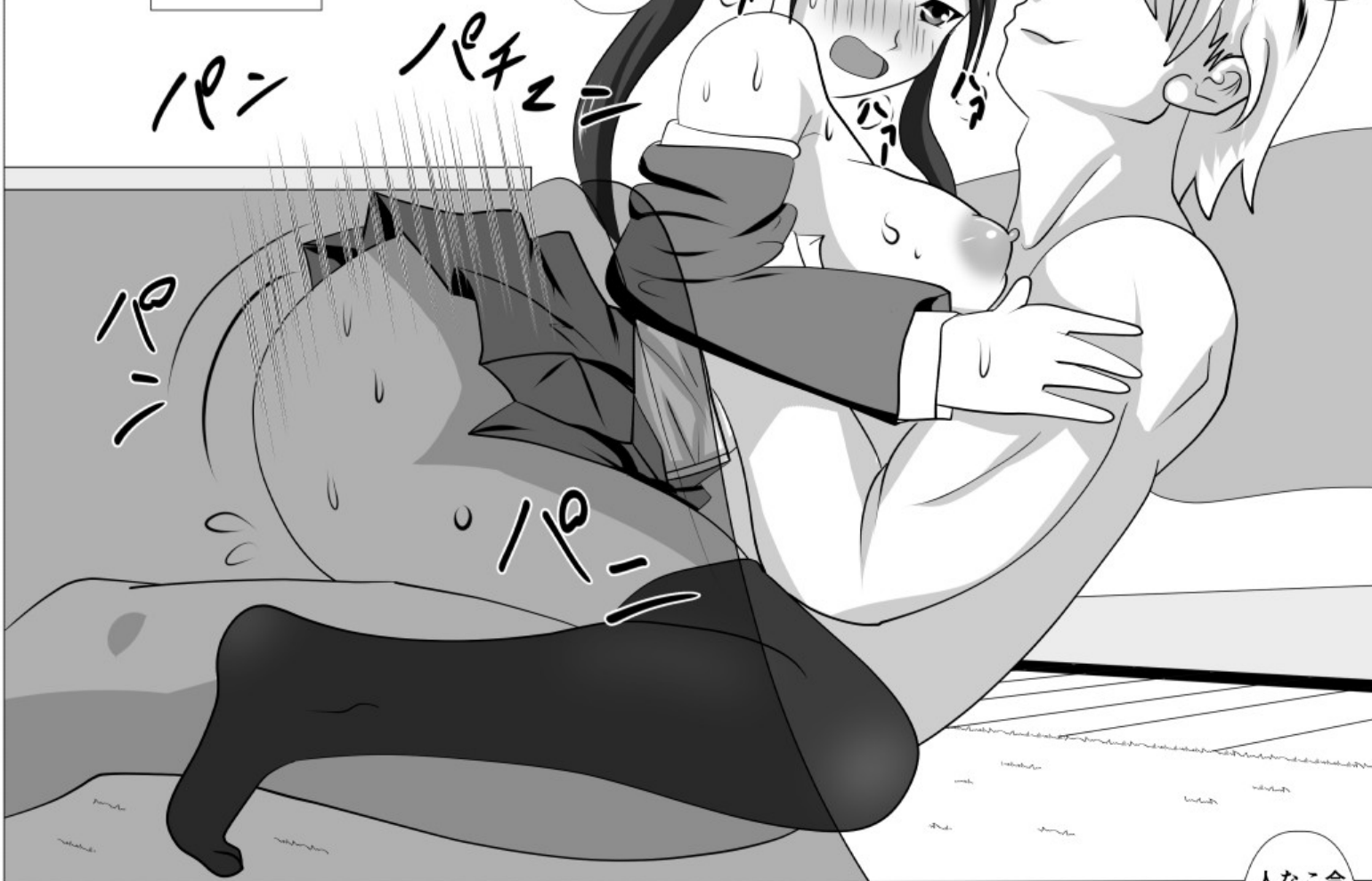
パチュン
パチュン

どうして：
春香のマンコが
あんなデカいチンポを
受け入れてる...
痛くはないのか
僕も知らない所で
春香はもう...そんな...
そんな...そんな...

一年前思い出すな
春香を破瓜した時もな
勉強会の時だったよな

ばっばか
こんな時に
何言ってるんのよ

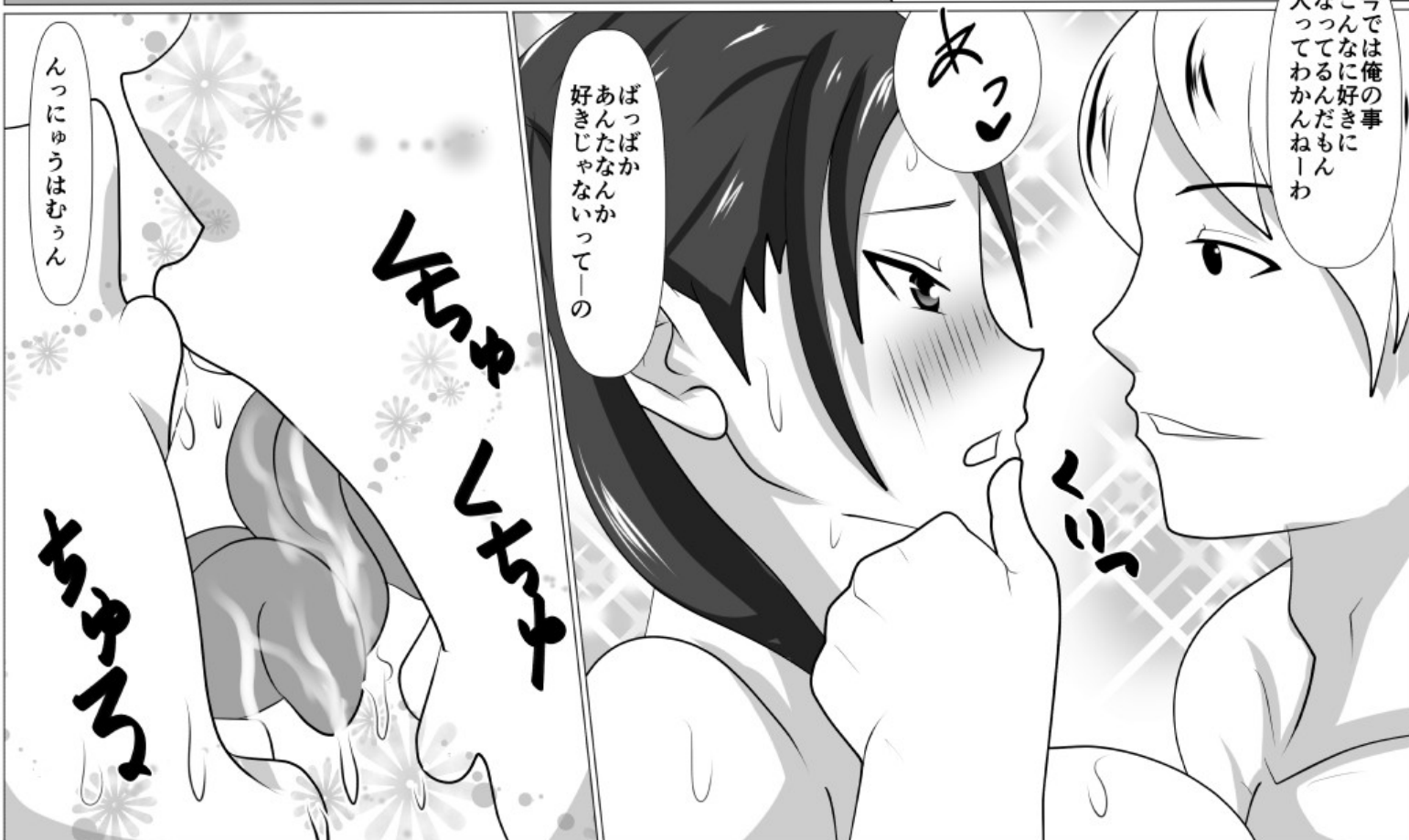
一年前：...そうだ
こうやって三人で
会って勉強してて
でも寝て朝起きたら
二人いなくなったら
あの時にすでに
僕の手から
離れていたのか



今では俺の事
こんなに好きに
なってるんだもん
人ってわかんねーわ

ばっばか
あんたなんか
好きじゃないってーの

んっにゅうはむうん



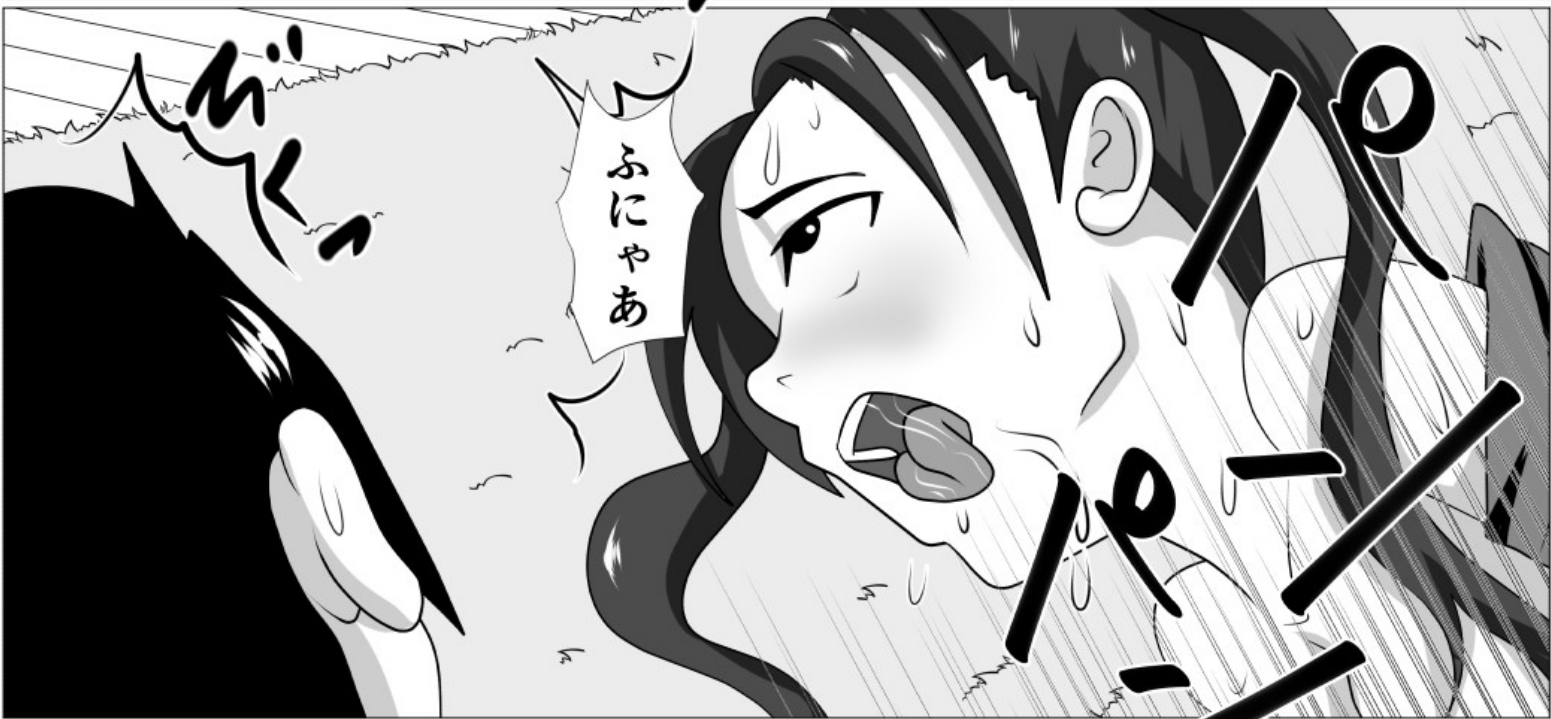
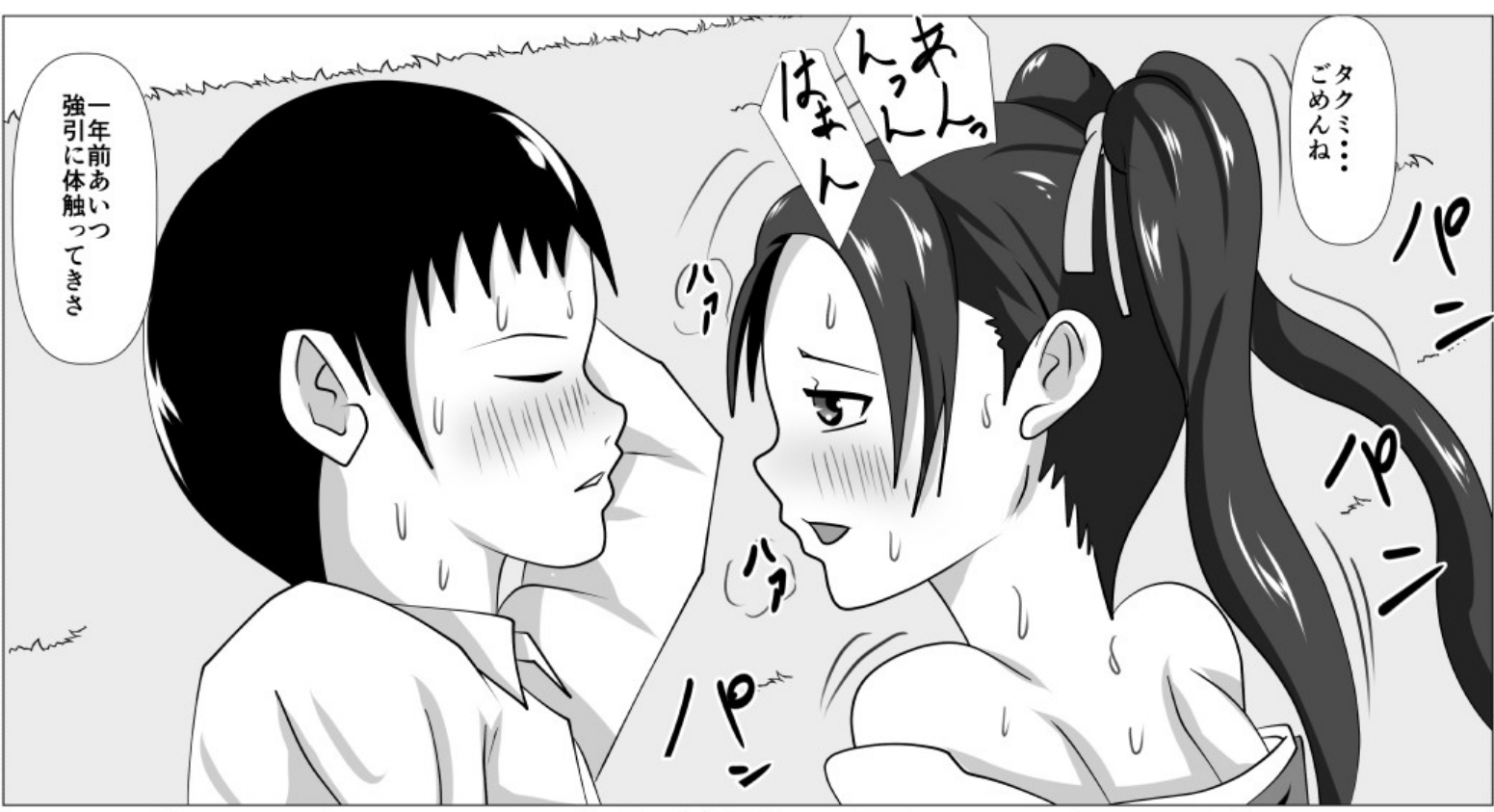
好きでもないのに
抱き合いながらキスし
互いの生殖器を
擦り合っている
行動は春香の言葉と
矛盾している
どっちが春香の
本音なんだ



タクミが
そんなに好きなら
ちゃんと
告白してみろよ
直美

ふええ？





それで
あんたが寝ちゃって

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

その時にレイプされて
初めてを
あいつに捧げちゃったの
タクミが寝てる傍で
本当はタクミ
に処女あげたかったのに

そんな
僕のそばで春香が
レイプされていたなんて
ごめん春香
僕そんなこと知らなくて

でも信じて体は
あいつが好きだけど

心までは
奪われてないんだからねっ！

にゃはああ

ふにゃああ

パニ

パニ

パニ

パニ



よく言うよ
プールの時
タクミの前で
中出しセックスして
悦んでたくせに

あつ
それ言わないで



タクミが私の水着姿
かわいかった時
変態なんて言ったけど
本当はうれしかったんだ

でもレイプ魔も
プールに来てて
タクミが居る前で

レイプされたの

パキッパキッ

パキッ

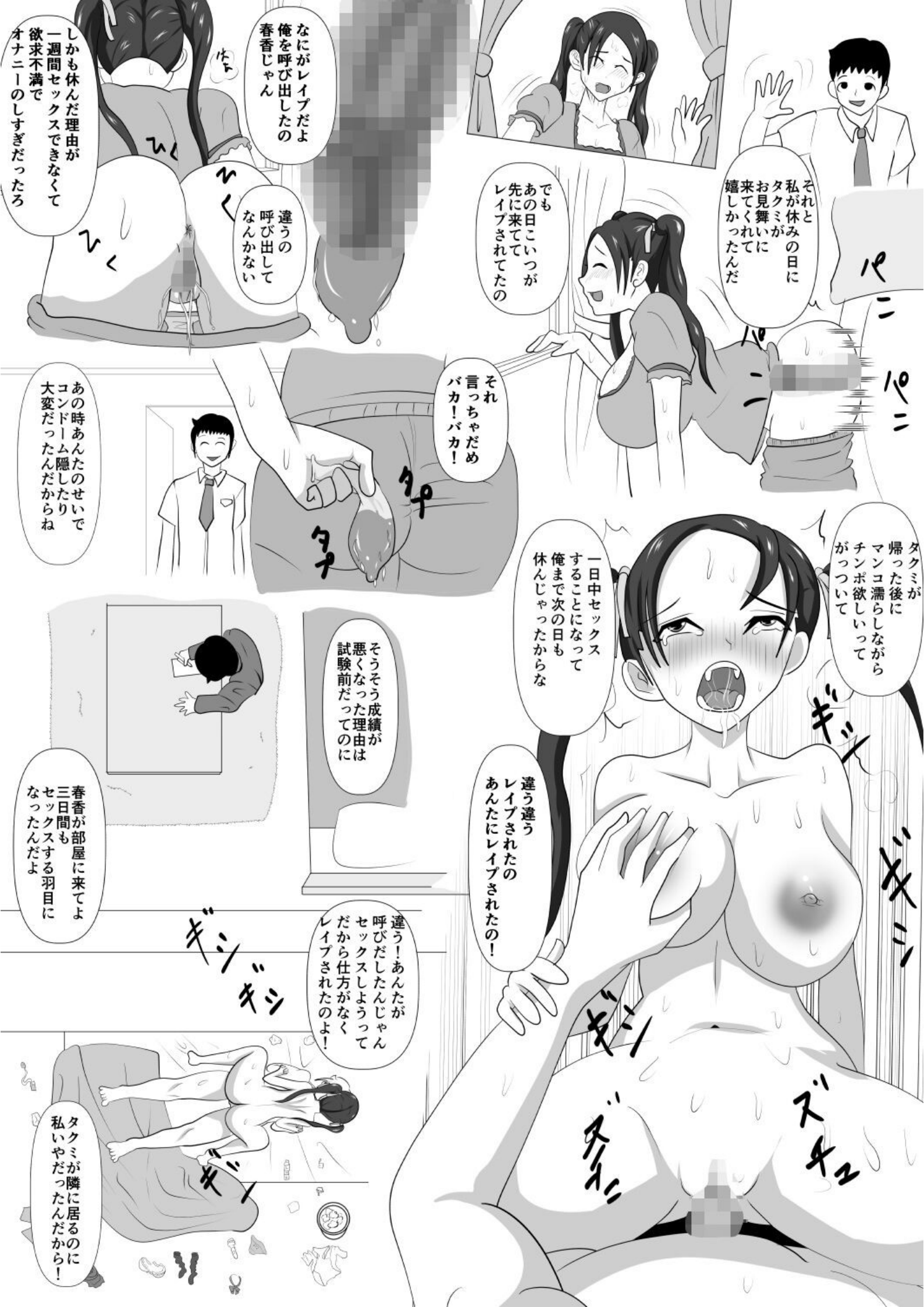
嫌だったのに
無理に腰振って
中にびゅびゅって
大嫌いな精子
中に出されたの

本当は
拒めたくせに
初めての生チンポで
マンコ悦んだんだろ

びゅっ

びゅびゅっ

別にお勤
中出しされ
ないんだ
からね



このさい
はつきりしろよ
俺とタクミ
どっちが好きなんだよ

そっそんなの
決まってるでしょ
私は
タクミが好きなのっ

パ
チュン

パ
チュン

パ
チュン

うそつけ！

ふにゃあつ！

あつはにゅう…

タクミ選んだら
二度とセックス
しねーぞ

そんな
私は…あつ…

私は…

ド
チュン



これみてチンが好き
春香の愛の告白で
こんなでちやったよ

タマ

タマ

か〜

ばっバカじゃないの
汚いものなっつーの

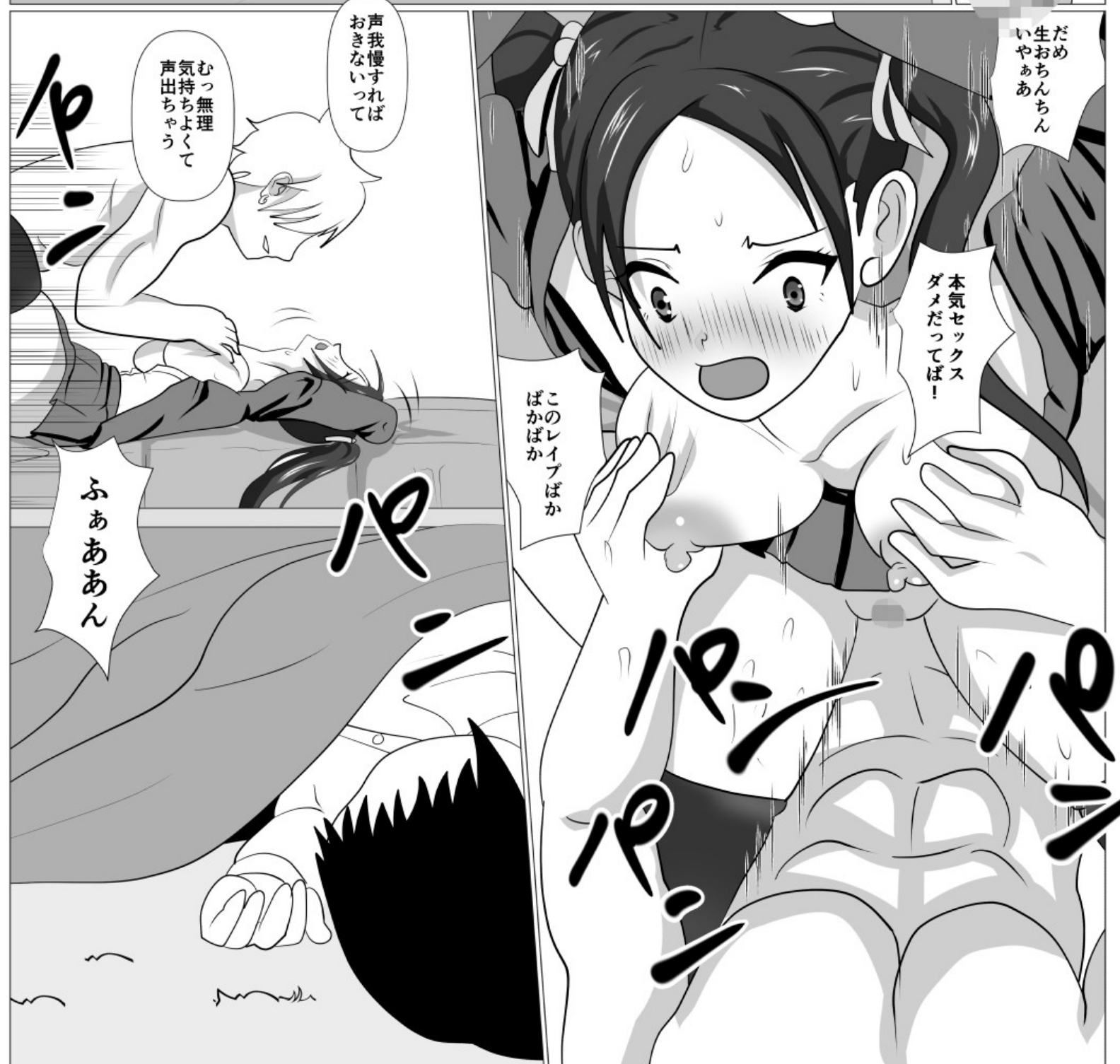
ねっタクミの
セックスすんべ

ぐい

はあ!?
あんた頭?
おかしんじゃないの

ばっバカ絶対
タクミに起るってば
やめ

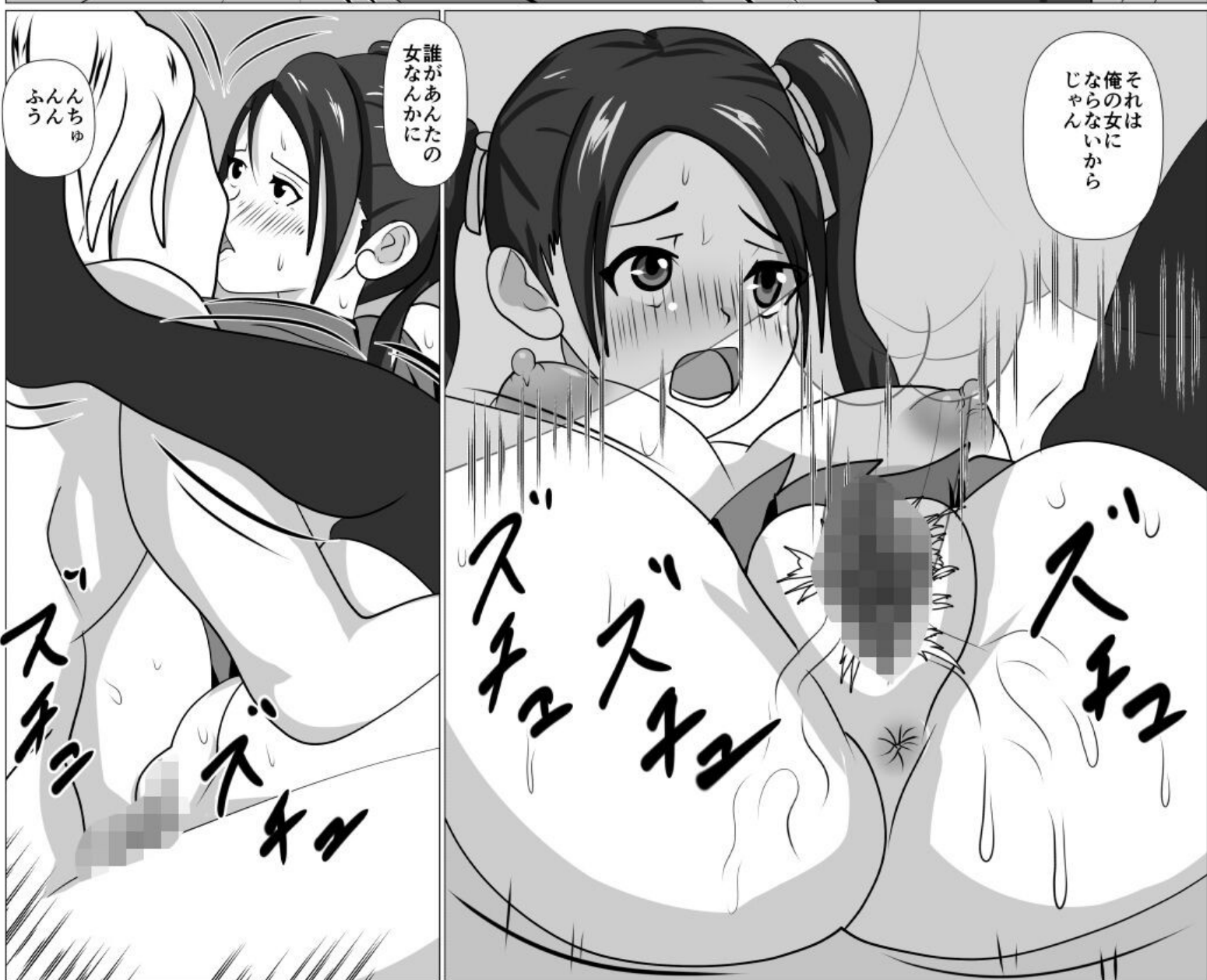
ギョ





春香って
嫌がっても
強引にいけ
ば簡単
に股開く
よね

ちがうっ私
はあんたが
無理やりし
て



それは俺
の女じゃ
ないから

誰があん
たの女
なんか

ふんちゅ

ス
ク
ス
ク
ス
ク

ス
ク
ス
ク

ス
ク
ス
ク

でも俺のチンポ
好きなんだろ？

かつ勘違いしないでよね
別にあんたが
好きなんじゃないくて
ペニスが好きなんだからね！

今俺の
彼女にならないと
そのペニスと
別れることになるよ

なっとなに
バカな事
やってんのよっ

ズ
チュ
ズ
チュ

おれの
彼女になれって！

ひにゃああ

ズ
グ
ズ
グ

絶対にあんたの
彼女なんかにつ

にやるううううう
ううううううう!!

と

ふい
ゆい
ゆい

ぬい
ぽ

しんまー

あっ…
びゅっびゅって
中でペニス
が悦んで
りゅ

びゅ
く

びゅ
く
く

ごめんね
タクミ
私……
こいつの
彼女になっちゃった

ブビュ
ビュビュ

彼女になった記念で
セックス
パーティーの
準備してくるわ

バカなこと
言っでないで
さっさと
帰ってよ

タクミ本当は
起きてるんでしょ
あんたってば
こんな時でも
何もしないんだね

でも
そんなタクミが
好きだったよ
ありがとう
さようなら……



直美に告白したら
この関係が
終わるんじゃないかって
ずっと言えなかった



いつの間にか
彼女は
寝取られてしまった



優柔不断で
臆病者なせいで

あと一步の
勇気さえあれば
春香を守れたのに



もう二度と
春香は戻ってこない
後悔しても遅かった……



早朝は
あいつの肩あわせて
部屋から出てきた



彼女は
今までと変わらず
何事もなかったように
挨拶した

おはようタクミ
これから彼氏と
デートなんだ

ズバリ